



# 九州・沖縄

22団体



## 東筑紫学園高等学校

### 理科部 広谷湿原保全プロジェクト

平尾台&広谷湿原 水の起源を探る+高校生が国際条約に挑戦!

日本で唯一、カルスト台地に存在する貴重な湿原、広谷湿原の成因、増減、再生の全3点から考察し、ラムサール条約登録に向けて活動している。土壤硬度による湿原境界の数値化、安定同位体による水の分析を研究し、3年後の2021年の締約国会議を目指している。



## 福岡工業大学附属城東高等学校

### 環境委員会

全校生徒一丸となって行う環境活動

全校生徒が一丸となって環境活動を行っている。主な活動は、ごみの22分別の実施、ごみの計量、省エネ活動、環境ボランティア活動、美化チェック。ねらいは生徒一人一人の環境に対する意識の向上のため。地道な活動の継続が全校生徒の環境改善意識向上につながっている。



## 中村学園女子中学校・高等学校

### インターラクトクラブ

#### 奉仕活動

毎週末に行う乳児院でのボランティアを始め、熊本大分地震関連のボランティアや大雨による被害を受けた朝倉への募金活動、海岸清掃を目的とした合宿なども実施している。学生の時だけでなく社会人になっても生涯ボランティアに携わり、奉仕の精神で貢献できる人材になりたい。



## 福岡県立伝習館高等学校

### 自然科学部生物班

柳川掘割をニホンウナギのサンクチュアリにするための研究と活動

柳川で育ったたくさんのニホンウナギがマリアナ海溝周辺海域で産卵してほしいと考え、ニホンウナギの研究と活動を始めた。現在までに1800尾ほどのニホンウナギを柳川掘割に放流し、37尾を再捕獲できた。また、掘割の魚類、甲殻類、貝類のモニタリングを継続している。



## 大分県立日田高等学校①

### 科学部生物班

絶滅危惧種ミツガシワの謎を追え! ~知られざるミツガシワの謎に迫る~

大分県で絶滅危惧種IAに指定されているミツガシワが、なぜ温暖な日田・玖珠地域にのみ生育しているのかを生態学的な見地から調査・研究を行っている。今後も県内に唯一残っているミツガシワ自生地、更には絶滅に瀕している植物をどう保全していくか取り組んでいく。



## 大分県立日田高等学校②

### ジビエ班

ジビエを食べて綺麗に美しく! ~食を通した地域活性化を探る~

近年ジビエの価格高騰や肉の独特的の臭いにより消費者から敬遠され、消費拡大に向けた対策が急務となっている。健康と美容に着眼点を置き、高校生なりの考え方で各機関と連携し、ジビエ特有の肉の臭みを取る方法や料理法等を考案し地域貢献に役立ちたいと考えている。



## 大分県立玖珠美山高等学校

### 地域産業科 おおいたうつくし隊

私たちの手で、日田・玖珠の自然と環境を守れ! ~循環型農業をめざして~

おおいたうつくし隊は、「豊かな自然環境を将来の世代に継承する」ことが目標の県民運動。地域産業科全員で「おおいたうつくし推進隊」に加盟し積極的な活動を行っている。大きな取り組みは、自然保護活動、地域の美化活動、環境保護、パークを中心とした循環型農業の展開。



## 大分県立大分東高等学校

### 農業部

地域交流活動を通した自然保全活動の取り組みについて

本校の家庭クラブと連携し、家庭ゴミの生ゴミ軽減やCO<sub>2</sub>削減に活かせないかと思い活動を開始。生ゴミから堆肥化することで家庭の生ゴミを減らすことができ、土壌の改良や保肥力を向上させて有機野菜を生産し販売する。生産農家とも連携し活動を進めている。



## 佐賀県立佐賀北高等学校

### 地学部

小型の雨量計を作成し、局地的な雨を調べる

本校では約30年間、ほぼ毎日定時に屋上に固定されている雨量計で降雨量を測定している。近年、夏に「ゲリラ豪雨」と呼ばれる局地的な雨が降る回数が増加していることから、持ち運びができる程度の雨量計を製作いろいろな場所での雨量を測定している。



## 長崎県立諫早農業高等学校

### 食品科学部

規格外びわの有効利用法 廃棄物「ゼロ」への挑戦

長崎県はびわの生産量全国第1位。ただし、露地びわで約50%、ハウスびわで約20%が規格外品として処分されている。この規格外びわを用い、新しい加工品の商品化を達成。さらに、びわの廃棄物が一切生じない「ゼロ・エミッション」の究極のエコ活動を研究している。

